

## 古賀市介護保険運営協議会（平成29年度第2回）会議録

標題の件について、下記のとおり実施したので、古賀市介護保険運営協議会規則第6条に基づき会議録を作成する。

1. 日時 平成29年7月24日（月）19時00分から21時15分まで

2. 場所 サンコスモ古賀 201・202研修室

3. 出席委員 甲斐信博 会長、福岡綱二郎 副会長  
大久保康裕 委員、高田武代 委員、  
加藤伊知郎 委員、酒井康江 委員  
京谷千恵子 委員、渡部典子 委員  
内田理加子 委員、古川真澄 委員

4. 委嘱書交付

5. 議題

- (1) 第2章「高齢者を取り巻く現状」について
  - ① 第6期計画の具体的な取り組み・成果
  - ② 高齢者等アンケート調査の実施結果
  - ③ 第6期計画の評価

6. 資料

- 【資料1】第6期計画の具体的な取り組み・成果
- 【資料2】高齢者等アンケート調査の実施結果
- 【資料3】第6期計画の評価

7. 署名（規則第6条第2項）

会長	印
会長の指名する出席委員	印

## 8. 議事の概要

### (1) 第2章「高齢者を取り巻く現状」について

介護支援課より、第6期計画の具体的な取り組み・成果、高齢者等アンケート調査の実施結果、第6期計画の評価について説明。〈資料1、2、3〉

#### ①第6期計画の具体的な取り組み・成果に関して〈資料1〉

##### 【質疑】

- 5ページの「老人クラブ活動支援事業」、6ページの「シルバー人材センター支援事業」は、進捗評価が△となっているが、市の想定が現状と噛み合っていないためなのか。  
⇒ これらの会員数や登録者数が減少していることは全国的な課題である。減少している理由としては、高齢化がすすみ、増加よりも減少が多いためである。古賀市では、老人クラブの名称を変更し、より若い世代の加入をすすめている段階である。今後も、新たなニーズなどを検討していく。
- 老人クラブは年会費に見合った魅力あるものにしなければならない。アンケート等の実施はしているか。  
⇒ アンケートは昨年度に実施した。加入者の満足度は高いが、今後は地域の高齢者との活動へと広げていきたい。
- 計画目標値とは、市が想定する超えるべき数値なのか、それとも達成が困難な数値なのか。  
⇒ 前計画の計画目標値がどのような意図をもって、設定されたかは完全に把握できていない。今年度策定する計画では、一定の意図をもって計画目標値を設定したい。
- 老人クラブの活動は、今後高齢者になる方々に対しても啓蒙していく必要があるのでは。  
⇒ その通りだと考えている。様々な年代に対して、啓蒙していくことを予定している。
- 10ページの「高齢者虐待対策事業」は、進捗評価が◎となっているが、単純に増加したことを評価しているのか。  
⇒ 虐待に関する相談場所として周知がすすんだことで、相談件数等が増加したと考えている。周知がすすんだことを評価し、◎とした。
- 10ページの「市民後見推進事業」は、実際に市民後見活動が実施されているのか。また、今後、養成研修は実施されるのか。  
⇒ 今年度より、社会福祉協議会にて法人後見事業が開始になったことに伴い、市民後見活動も実施できることとなったが、現時点で実施は行われていない。養成研修は来年度以降を検討している。

- 11ページの「災害時要援護者対策事業」は、平時に対策をしていくことが必要である。同意率は100%を目指すべきではないか。
- ⇒ 民生委員の方々が各戸訪問し、意思確認を行っている。それでも約30%の同意が得られない。防災に対する意識付けを徹底する必要性を感じている。

#### 【意見】

- 10ページの虐待件数が増加していることに関しては、周知以外の要因がないかは検討してほしい。

### ② 高齢者等アンケート調査の実施結果

#### 【質疑】

- 3ページの要介護認定者の性別は女性が6割を超え、主な介護者は配偶者が3割を超えているものの、4ページの主な介護者の性別は女性が7割を超えている。主な介護者に娘が多いということか。
- ⇒ 印象ではあるが、娘が介護するケースが多いように感じる。
  
- 今回のアンケート結果は、3年前に実施したアンケート結果と比較してはどうか。
- ⇒ 国から提示されたアンケートの結果は、一語一句同じではないため、比較ができない。古賀市独自のアンケートは、文言を変更しておらず比較できるため、計画に使用できるか検討する。

### ③ 第6期計画の評価

#### 【質疑】

- 介護する人が高齢化しているが、男性が介護する場合にストレスがすごいと感じている。どのように対策されるつもりか。
- ⇒ 男性介護者は介護への不安があることや、介護技術教室への男性参加者が少ないことは聞いたことがある。男性向けの介護技術教室などがあれば、良いかと思われる。
  
- 3ページの基本施策2の③、④の課題も記載すべきではないか。
- ⇒ 記載内容を検討する。
  
- 1ページの図表44、4ページの図表46の凡例は、図表の前に記載すべきではないか。
- ⇒ 検討する。
  
- 認知症専門チームでの活動は古賀市ではあるのか。
- ⇒ 現時点ではない。今秋から医師と行政とで相談業務として活動予定である。

○ 地域での認知症のある人の発掘ともの忘れ相談ルームとの連携はあるのか。

⇒ ない。

○ 地域包括支援センターの高齢者が親しみやすいネーミングはあるのか。

⇒ 「寄って館」という愛称がある。

○ 認知症の方の家族会はあるのか。

⇒ 20年前に介護者の会として立ち上がっており、現在も活動している。名称は「なのはな会」という。

### 【意見】

○ 地域包括支援センターなど相談施設の知識はあると思うが、そこへ行き着くまでのハードルが高いように感じる。身近に不安等を吐き出すことができ、相談できる場所が必要と思う。

○ 24時間対応可能な訪問サービスは、古賀市にあるため、様々な形で周知してほしい。また、古賀市外のケアマネジャーに対しても周知してほしい。

○ 高齢者の介護予防把握事業や要介護者台帳登録事業については、本人の援助を受ける力（受援力）を高め、地域で助けてと言いやすい雰囲気を作ることが大事ではないか。

○ 地域で認知症かどうかボーダーの人が多くなっている。ちょっとした物忘れに気付いた場合には、地域で共有し見守るようにしている。

## 9. その他

・議事録について

署名については甲斐会長と渡部委員にお願いする。

・次回、平成29年度第3回開催日程について

8月25日（金）の予定。

以上